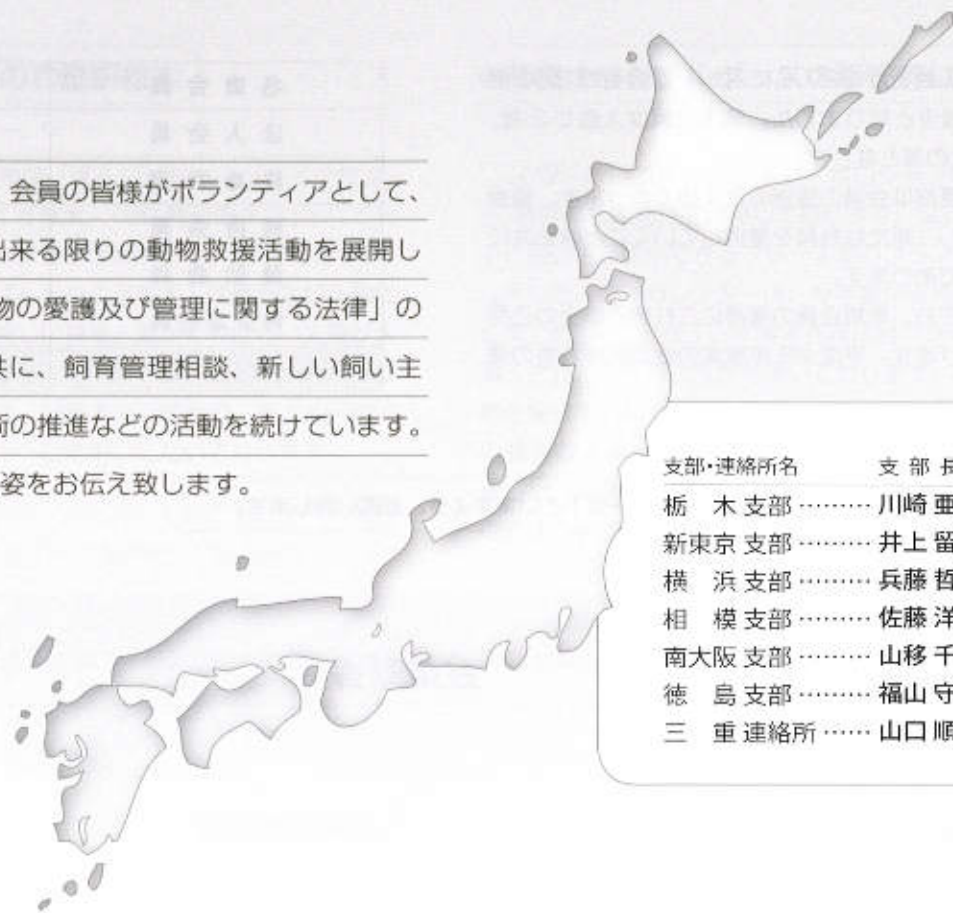


VI 各支部の活動報告

各支部・連絡所では、会員の皆様がボランティアとして、それぞれの地域で出来る限りの動物救援活動を展開しました。「改正・動物の愛護及び管理に関する法律」の周知に力を注ぐと共に、飼育管理相談、新しい飼い主探し、不妊・去勢手術の推進などの活動を続けています。ここに皆様の活動の姿をお伝え致します。



支部・連絡所名 支部長
 栃木支部……川崎亜希子
 新東京支部……井上留美
 横浜支部……兵藤哲夫
 相模支部……佐藤洋文
 南大阪支部……山移千鶴
 徳島支部……福山守
 三重連絡所……山口順子(所長)

▶ 北海道支部

Hokkaido Branch

現在、休会中です。

▶ 栃木支部

Tochigi Branch

●ねこの日に栃木県鹿沼市の動物取扱業者の登録取消

2011年2月22日のねこの日に、かねてより皆様にもご報告していた動物取扱業者が登録を取消されました。インターネットの通信販売の匿名性をうまく利用し、代金を搾取したり、購入を希望したねこと違うねこが送られてきたり、送られたねこが病気だったりなど、全国から苦情がきていた業者でした。また、飼育環境が劣悪で、病気が蔓延し、公衆衛生上の問題も出ていました。このケースでは、住所が架空、偽名でも動物取扱業の登録ができる、動物が残されている場合、登録だけ取り消してしまうと行政側に立ち入り権限が無くなる、登録取消になっても3年で再登録できる、所有者の承諾がなければ、衰弱しているにもかかわらず動物の所有権を取り上げられず、助けることができないなど、様々な問題が浮上しました。次回法改

正の場合には、動物福祉に沿った形でこれらの問題が速やかに解決できるよう尽力したいと思っております。



動物取扱業者の施設

●相談活動

会員が日常的に相談に応じています。地域ねこ活動や、新しい飼い主探しの相談などが多く、会員が実際に地域ねこ活動を行ったり、犬やねこを保護したりしています。飼育不適格者や動物取扱業者（ペットショップやブリーダー）などに関する通報や相談は行政にも動いてもらっています。

保健所からは市民からの相談の内容に応じ、こちらに相談が回ってくることも多くなりました。捕獲器の貸し出しや、繁殖制限手術の相談にも積極的に応じています。

●県の動物愛護週間の行事に参加

栃木県の動物愛護フェスティバルに参加し、署名活動や来場者への相談に応じました。

●シェルター運営

登録取消となった劣悪な動物取扱業者から保護したねこの受け入れや、被災動物の一時預かりなどでシェルターを積極的に活用しています。支部長宅にもシャワールーム床暖房完備の小さなシェルターを作りました。本部や、本部を支援して下さる企業や皆様のお陰で、フードや医療費などを賄い、運営しております。皆様のお気持ちや支援に心より感謝いたします。



▶ 新東京支部

Shin-Tokyo Branch

新しい飼い主探しは、本部の指導の下で安定した活動を行って参りました。また、支部の拠点があるヤマザキ学園の校舎を提供して開催された、本部主催のセミナーも沢山の皆様にご参加いただき、有意義な時間を持つことができました。恒例となる渋谷区主催の「せせらぎまつり」や、世田谷区「どうぶつフェスティバル」、環境省の中央行事「動物愛護ふれあいフェス

●不妊・去勢手術の推進と新しい飼い主探し

地域ねこ活動や、会員が保護した犬やねこ、飼育不適格者への啓発等に積極的に助成金を活用しています。新しい飼い主探しは、インターネットや新聞の媒体を活用しています。成犬、成ねこやハンデのあるねこにも理解ある新しい飼い主さんが見つかりやすく、人の温かい気持ちに心癒されることもしばしばです。

不妊・去勢手術助成金支給頭数 犬・猫合計=164

犬・猫の新しい飼い主探し実績 (犬・猫合計=55)

犬	17	猫	38
犬計	17	猫計	38

●東日本大震災における詐欺団体や類似名称NPO団体の問題

東日本大震災に乗じた義援金詐欺の問題が起きています。告発を行ったNPO法人動物愛護福祉協会が、再びフリーダイヤルを取得し、ツイッターなどを開設して、義援金詐欺を始めたのには驚きを通り越して呆れてしまいました。行政や検察庁からも指導をお願いし、ツイッターなどは閉鎖されましたが、フリーダイヤルは依然そのまま被害にあった方がいないか心配です。活動の実態もないのに義援金を集めたり、保護活動と称し、被災地から飼い主の承諾なく犬やねこを持ち去り、その後届け出もしない連れ去りに近い話など、被災者や善意の人の気持ちを傷つける話も聞いています。

●東日本大震災における被災動物の救護

被災動物のレスキュー、飯沼村などの計画的避難地域での相談、一時預かりや新しい飼い主探しなど最前線の支部として現地に入り、活動を行いました。また、緊急災害時動物救援本部からの物資を現地に運搬し、必要としている団体や、避難場所にお届けしました。

(支部長 川崎亜希子)



◀緊急災害時動物救援本部に届いた支援物資の仕分け作業に協力

た真心がこもる支援物資の仕分け作業などにも、当支部および学園を挙げて積極的に取り組んでおります。先日の集荷場の移設の際は、20トンもの物資を数回に分けて運び込む作業も行いました。今後は被災動物の救援・保護活動や、譲渡活動などの支援準備をしています。長期化に伴い支援状況も変化することが予測されます。本部の呼吸に合わせた息の長い支援活動を目指して参ります。

不妊・去勢手術助成金支給頭数 (犬・猫合計=9)

犬・猫の新しい飼い主探し実績 (犬・猫合計=8)

(支部長 井上留美)

▶ 横浜支部

Yokohama Branch

平成23年3月11日14時46分、マグニチュード9の地震発生、そして津波があり、それに伴い家畜やペット、その他の動物の災難・自然災害は仕方ない思いもありますが、福島での人災の放射能汚染の為に動物たちの惨状を見せつけられると、何とかならなかったのかという思いが強く残ります。救援できなかった現状を悔いるしかないのか、残念ながら多くの反省がそこにあるような気が致します。徹底的に議論をして検証し、明日に伝える備えをしなければなりません。行政と緊急災害時動物救援本部との関係、救援本部と他団体との連携と強調と、いくつかのシュミレーションを描き文章にしておかなければならない事を実感しています。(支部長 兵藤哲夫)

支部創立34年目となり、「新しい飼い主探しの会」を、今年も毎月第三日曜日に兵藤動物病院の駐車場で、日本大学(生物資源科学部 VAC サークル)の学生・ヤマザキ動物看護短期大学(ボランティアサークル JAL)の学生・一般ボランティアで、毎回20~25名が参加して行いました。終了後には、勉強会及び支部役員会を開催しています。又、電話相談も年間99件受け付けました。



横浜支部の推進員とボランティア (9月26日「動物愛護フェスタよこはま」にて)

月	日	内 容
5	9	「犬のしつけ教室」旭区役所第二駐車場(兵藤・森田)
	29	NPO 法人神奈川動物ボランティア連絡会 理事会 小湊会館(兵藤・森田)
6	18	新しい飼い主探しの会終了後、支部総会
8	10	第1回人と動物との共生推進よこはま協議会 松村ビル別館503会議室(兵藤・森田)
	12	横浜市旭区推進員会議 旭区民祭り及びよこはまフェスタの件 二俣川ジョナサン
9	16	横浜市旭区推進員会議 旭区民祭り及びよこはまフェスタ準備会 兵藤動物病院2F
	26	動物愛護フェスタよこはま(動物愛護週間行事) 横浜美術館前広場 ※集合写真あり(左下)
2	7	第2回人と動物との共生推進よこはま協議会 横浜市災害時動物救護連絡会 松村ビル別館503会議室(兵藤・森田)
	27	横浜市獣医師会主催 市民フォーラム「療育の中のアニマルセラピー」参加2名
3	7	横浜市旭区推進員会議 兵藤動物病院2F
	23	第3回人と動物との共生推進よこはま協議会 東日本大震災動物救援本部の件 松村ビル別館503会議室(兵藤・森田)

不妊・去勢手術助成金支給頭数 (犬・猫合計=302)

犬	オス	10	猫	オス	109
	メス	8		メス	175
犬計	18		猫計	284	

犬・猫の新しい飼い主探し実績 (犬・猫合計=149)

犬	成犬	30	猫	成猫	15
	子犬	17		子猫	87
犬計	47		猫計	102	

(副支部長 森田トヨ子)

▶ 相模支部

Sagami Branch

●新しい飼い主探し

毎月1回第3日曜日に、横浜支部と合同で「新しい飼い主探しの会」を行いました。年々この会で飼い主探しをする犬や猫の数は減少しており、嬉しいこととは思いますが、近年の傾向として純血種が多くなっているような印象があります。このことには安易な飼育開始や、集合住宅での規約を無視した飼育などがあるのではないかと恐れ、「現在動物を飼育していない人」への啓蒙が活動の要点として重要になってくるのではないかと恐れられます。

●不妊・去勢手術の推進

例年と同様、不妊・去勢手術の重要性を訴え、必要な方々に助成金による補助を行いました。まだまだ助成金支給頭数は少な

く、もっと沢山のの人に不妊・去勢手術の重要性を認知していただくよう、努力していく必要があると思います。

不妊・去勢手術助成金支給頭数 (犬・猫合計=27)

犬	オス	0	猫	オス	11
	メス	0		メス	16
犬計	0		猫計	27	

●その他

3月11日に発生した東日本大震災により被災した動物の救護のため、現地の獣医師と連絡を取り、ボランティアの募集などの支援活動を行いました。

(支部長 佐藤洋文)

▶ 南大阪支部

Minami-Osaka Branch

●行政との対応

- ・府動物愛護推進協議会に出席
- ・府災害等動物救護マニュアル策定検討部会に出席
- ・府アライグマ被害対策検討委員会に出席
- ・府動物愛護推進員意見交換会に出席
- ・大阪市動物愛護推進協議会に出席
- ・堺市動物愛護フェアに参加
- ・府から譲渡された犬、猫の不妊去勢手術費用の一部助成
- ・処分された犬、猫、アライグマの慰霊祭に参列
- ・保健所での犬のしつけ教室に参加
- ・東日本大震災の犬同伴の被災者に対して府営住宅の提供を申し入れる

●広報活動

- ・中之島まつりで、東日本大震災の被災地でのペット写真展、募金活動、買い手探し
- ・「第2回 RSPCA 動物福祉短期研修会」参加
- ・「第2回シェルターメディシン」セミナー参加
- ・「動物愛護法改正に向けて」セミナー参加
- ・支部会員へ緊急災害時動物救援本部への義援金のお願い

●電話相談 = 254件

犬や猫の引き取り依頼や新しい飼い主探しは相変わらずです。管理センターや獣医師からこちらを紹介されたという、相談者が目立ちます。殺したくない、助けてやりたいというお気持ちが理解できるだけに辛いものがあります。

その他、東日本大震災の動物救援本部への義援金が、どう使われているのかわからないという苦情もありました。

不妊・去勢手術助成金支給頭数 (犬・猫合計=764)

犬	オス	26	猫	オス	152
	メス	48		メス	538
犬計	74		猫計	690	

犬・猫の新しい飼い主探し実績 (犬・猫合計=35)

犬	成犬	16	猫	成猫	4
	子犬	3		子猫	12
犬計	19		猫計	16	

(支部長 山移千絵)

▶ 阪神支部

Hanshin Branch

現在、休会中です。

▶ 徳島支部

Tokushima Branch

不妊・去勢手術助成金支給頭数 (犬・猫合計=385)

犬	オス	6	猫	オス	196
	メス	5		メス	178
犬計		11	猫計		374

◇「めぐまれない犬や猫をいかに減少させられるか」を話し合うため、個人活動家と4回の会合を持ちました。

●動物愛護啓発活動—「人と動物の共生を目指して」

徳島県立文化の森にて、本部のご協力によりパネル展に参加しました。



●動物愛護週間行事

動物愛護週間中の行事として、協力病院において動物の健康診断を行いました。

また支部会員4名、犬2頭、猫2頭と共に老人施設を訪問し、交流を持ちました。

●新しい飼い主探し

不妊・去勢手術活動と並行して、新しい飼い主探しを行いました。

犬・猫の新しい飼い主探し実績 (犬・猫合計=62)

犬	成犬	3	猫	成猫	3
	子犬	15		子猫	41
犬計		18	猫計		44

●学校飼育動物

本年度も学校飼育動物の治療・予防接種等を実施すると共に、飼育者への指導・相談を行いました。

(副支部長 伊月高穂)

▶ 三重連絡所

Mie Liaison office

繁殖制限の普及につとめて35年、漸く昨年度、犬の殺処分数が3桁になりました。猫は昨年度、平成元年の処分数の約半数になりましたが、まだまだです。飼い主はもちろん、周囲の人々の理解と協力が必要です。

終わることのない活動、命を守り続けます。

(連絡所長 山口順子)

VII 財務状況

◎財産の状況

単位：千円

	22年度	21年度
現預金	77,714	45,378
貯蔵品	659	906
その他流動資産	321	1,096
固定資産	11,500	51,570
特定資産	10,000	50,070
その他	1,500	1,500
資産合計	90,194	98,950
負債合計	30,184	13,177
正味財産	60,010	85,773

◎当年度の収支は下記の通り巨額の赤字となったが、公益法人移行に伴う特定資産の整理、及び東日本大震災に係る義援金(動物関係4団体で構成する緊急災害時動物救援本部)の入金等があったため現預金は大幅な増加となった。

◎収支の状況

単位：千円

	22年度	21年度
前期繰越額	85,773	66,951
会費収入	26,916	29,218
募金収入	8,044	12,839
寄付金収入	14,744	27,642
その他収入	1,045	1,066
当期収入合計	50,749	70,765
動物福祉事業費	55,905	59,240
一般経費	34,106	33,146
事業経費	21,799	26,094
管理費	15,567	13,758
募金等関連経費	5,040	8,283
当期支出合計	76,512	81,281
過年度修正	0	29,338
次期繰越額	60,010	85,773

◎会費収入は若干の減少に止まったが、慈善ビンゴ会の延期、大口寄付の入金ずれ込み等により、募金収入、寄付金収入とも大きく減少した。

◎当年度は9月で一時休会した支部があり、また、特別なプロジェクトもなかったため事業経費は減少した。

◎平成23年度予算

単位：千円

前期繰越額	60,010
会費収入	26,161
募金収入	11,705
寄付金収入	18,540
その他収入	773
当期収入合計	57,179
動物福祉事業費	52,626
一般経費	33,298
事業経費	19,328
管理費	13,554
募金等関連経費	8,927
当期支出合計	75,107
次期繰越額	42,082

◎23年度予算は前年度の実績(一過性のものを除く)を踏まえて、年度事業方針に基づき編成した。

◎東日本大震災の影響がどうなるかは予断を許さないが、緊急災害時動物救援本部を中心に対応していくとともに、当協会としての事業もより一層の効率化を図りつつ着実に推進していく予定である。

◎今後における事業基盤の強化・拡大のためには収入基盤のより一層の強化・拡充が必要である。

東日本大震災
動物救援
義援金のお願い

人と共に動物たちも。

緊急災害時動物救援本部へ

金融機関：みずほ信託銀行 渋谷支店（店番号022）

※みずほ銀行ではございません。

口座番号：普通預金：4335112

口座名： 緊急災害時動物救援本部

（キンキュウサイガイジドウブツキュウエンホンブ）

公益社団法人 日本動物福祉協会へ

郵便振替

郵便振替番号：00130-6-20714

加入者名：公益社団法人日本動物福祉協会

※通信欄に必ず「東日本大震災義援金」とご記入下さい

銀行口座

金融機関：みずほ銀行 六本木支店（店番号053）

口座番号：普通預金2814596

口座名： 公益社団法人日本動物福祉協会

インターネット

① JustGiving Japan「東日本大震災の被災動物救援(Rescue fund for animals)」より
<http://justgiving.jp/c/5965> のアドレスから、「このチャレンジに寄付する」ボタンを押すと、クレジットカード及びネットバンキングでご寄付ができます。

② Paypal より（一部英文表示となりますので、ご了承下さい）
当協会ホームページ（http://www.jaws.or.jp/supportUs/donation/page_aboutThis.html）から、海外の方にもお気軽にクレジットカードでご寄付頂けます。

当協会宛の義援金は、緊急災害時動物救援本部へ送金させていただきます。

緊急災害時動物救援本部

事務局：財団法人日本動物愛護協会

財団法人日本動物愛護協会

公益社団法人日本動物福祉協会

公益社団法人日本愛玩動物協会

社団法人日本獣医師会

緊急災害時動物救援本部は上記4団体で構成されています。



JAWSの動物福祉活動を、もっと多くの方々に理解し応援していただきたい。
そして日本を「命あるものをいつくしむ」やさしい思いやりの国にしたい。

そんな願いをこめて、日々の努力を重ねておりますが、私たちの活動資金は
全て、会員の方々からの会費と一般からの寄付によってまかなわれております。

私たちの考え方や活動にご賛同いただける方に、是非会員になっていただき、
動物福祉事業の輪を更に拡げて、ひとつでも多くの命を救いたい。
それが私たちの願いです。

新しい仲間が増えることを祈りつつ、今後とも変わらぬご支援とご協力のほど
を心からお願い申し上げます。

WE LOVE YOU
ひとつでも多くの命を救うために！

◎お申込・ご連絡・お問合せは

電話(03-5740-8856)又はFAX(03-5496-0930)でお願い致します。



Happy Face of the Year

～すべての生きものに尊厳を～ アルバート・シュヴァイツァー

公益社団法人日本動物福祉協会

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-8 中村屋ビル4階

TEL(03)5740-8856 FAX(03)5496-0930

HP <http://www.jaws.or.jp>